

卒業後・修了後3年次アンケート(平成27年度実施)集計結果

京都大学文学部・文学研究科では、これまで卒業時・修了時に卒業生・修了生の皆様にアンケートを実施し、教育研究活動の自己点検・評価に役立ててきました(近年の集計結果はホームページ上で公開されています)。このたび、京都大学全体の方針に沿って、卒業・修了して社会に出られた方や進学された方などから、改めて本学部・研究科を振り返って評価していただくために、卒業後・修了後3年次アンケートを実施いたしましたので、その結果を公開いたします。

ご協力いただきました卒業生・修了生の皆様に、お礼申し上げます。

実施時期 平成27年12月11日～平成28年1月8日

実施方法 連絡先住所が判明する平成24年度卒業生(168名)・修了生(修士32名、博士4名)に依頼状を郵送し、京都大学アンケート支援システムにて回答をお願いした。卒業生の回答は15、回答率は約9%、修士課程修了生の回答は5、回答率は約16%であった。博士課程修了生からの回答は0であったため、以下の集計結果には含めていない。

Q1 あなたの卒業・修了年次を選んでください。

平成25年(2013)3月
に文学部を卒業

平成25年(2013)3月
に文学研究科修士課
程を修了

| | | |
|------|----|---|
| 回答者数 | 15 | 5 |
|------|----|---|

Q2 あなたが属していた系(専攻)を教えてください。

学部卒業生

修士課程修了生

| 系(専攻) | 学部卒業生 | 割合 | 修士課程修了生 | 割合 |
|---------------------|-------|-------|---------|-------|
| 哲学基礎文化学系(思想文化学専攻) | 2 | 13.3% | 0 | 0.0% |
| 東洋文化学系(思想文化学専攻・東洋系) | 1 | 6.7% | 3 | 60.0% |
| 西洋文化学系(思想文化学専攻・西洋系) | 0 | 0.0% | 1 | 20.0% |
| 歴史基礎文化学系(歴史文化学専攻) | 7 | 46.7% | 1 | 20.0% |
| 行動・環境文化学系(行動文化学専攻) | 3 | 20.0% | 0 | 0.0% |
| 基礎現代文化学系(現代文化学専攻) | 2 | 13.3% | 0 | 0.0% |

Q3 あなたの現況について教えてください。

学部卒業生

修士課程修了生

| 現況 | 学部卒業生 | 割合 | 修士課程修了生 | 割合 |
|----------------------|-------|-------|---------|-------|
| 社会人(一般企業等で就労) | 9 | 60.0% | 2 | 40.0% |
| 社会人(官庁・地方自治体等で就労) | 1 | 6.7% | 0 | 0.0% |
| 社会人(教員・司書等の専門職として就労) | 4 | 26.7% | 2 | 40.0% |
| 社会人(非就労) | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 学生・院生(京都大学) | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 学生・院生(他の大学) | 1 | 6.7% | 0 | 0.0% |
| 学生・院生(その他の学校) | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| その他 | 0 | 0.0% | 1 | 20.0% |

Q4 文学部(文学研究科)での勉学を通じて身につけ、卒業後に役立つ能力や資質があれば、「はい」と答えてください。身につかなかった能力や資質については、「いいえ」と答えてください。どちらとも言えない場合は、「どちらでもない」を選んでください。

学部卒業生

修士課程修了生

| 能力や資質 | 回答 | 学部卒業生 | 割合 | 修士課程修了生 | 割合 |
|-----------|---------|-------|-------|---------|-------|
| 一般的な教養や知識 | はい | 10 | 66.7% | 4 | 80.0% |
| | いいえ | 3 | 20.0% | 0 | 0.0% |
| | どちらでもない | 2 | 13.3% | 1 | 20.0% |
| 社会的な常識 | はい | 3 | 20.0% | 1 | 20.0% |
| | いいえ | 7 | 46.7% | 1 | 20.0% |
| | どちらでもない | 5 | 33.3% | 3 | 60.0% |
| 専門的な知識と技術 | はい | 9 | 60.0% | 4 | 80.0% |
| | いいえ | 5 | 33.3% | 0 | 0.0% |
| | どちらでもない | 1 | 6.7% | 1 | 20.0% |
| 専門分野の研究能力 | はい | 8 | 53.3% | 4 | 80.0% |
| | いいえ | 4 | 26.7% | 0 | 0.0% |

| | | | | | |
|-------------------|---------|----|-------|---|--------|
| 国際感覚や国際性 | どちらでもない | 3 | 20.0% | 1 | 20.0% |
| | はい | 4 | 26.7% | 2 | 40.0% |
| | いいえ | 3 | 20.0% | 1 | 20.0% |
| 外国語の能力 | どちらでもない | 8 | 53.3% | 2 | 40.0% |
| | はい | 6 | 40.0% | 3 | 60.0% |
| | いいえ | 4 | 26.7% | 1 | 20.0% |
| 企画力や創造的思考力 | どちらでもない | 5 | 33.3% | 1 | 20.0% |
| | はい | 7 | 46.7% | 2 | 40.0% |
| | いいえ | 3 | 20.0% | 1 | 20.0% |
| 実行力 | どちらでもない | 4 | 26.7% | 2 | 40.0% |
| | はい | 3 | 20.0% | 2 | 40.0% |
| | いいえ | 4 | 26.7% | 0 | 0.0% |
| 協調性やチームワーク | どちらでもない | 8 | 53.3% | 3 | 60.0% |
| | はい | 2 | 13.3% | 0 | 0.0% |
| | いいえ | 7 | 46.7% | 1 | 20.0% |
| コミュニケーション能力 | どちらでもない | 6 | 40.0% | 4 | 80.0% |
| | はい | 3 | 20.0% | 2 | 40.0% |
| | いいえ | 6 | 40.0% | 1 | 20.0% |
| リーダーシップ | どちらでもない | 6 | 40.0% | 2 | 40.0% |
| | はい | 1 | 6.7% | 1 | 20.0% |
| | いいえ | 8 | 53.3% | 1 | 20.0% |
| 自分で問題を発見し、解決を図る能力 | どちらでもない | 6 | 40.0% | 3 | 60.0% |
| | はい | 13 | 86.7% | 4 | 80.0% |
| | いいえ | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 自己管理能力 | どちらでもない | 2 | 13.3% | 1 | 20.0% |
| | はい | 7 | 46.7% | 2 | 40.0% |
| | いいえ | 3 | 20.0% | 1 | 20.0% |
| 倫理観 | どちらでもない | 5 | 33.3% | 2 | 40.0% |
| | はい | 5 | 33.3% | 3 | 60.0% |
| | いいえ | 3 | 20.0% | 1 | 20.0% |
| 自学自習の姿勢 | どちらでもない | 7 | 46.7% | 1 | 20.0% |
| | はい | 12 | 80.0% | 5 | 100.0% |
| | いいえ | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| | どちらでもない | 3 | 20.0% | 0 | 0.0% |

Q5 文学部（文学研究科）での勉学について、特にどのような所が良かったか、自由に教えてください。

平成25年(2013)3月に文学部を卒業した方の回答

卒業論文を書く際、研究室の先輩方、先生方に様々なアドバイスを頂けたのが良かった。また図書館で豊富な資料に触れることができてよかった。

自由に好きなことを学べる。勉学が社会で役に立っているとは思わないが、後悔や不満はない。

自分で課題を設定して進められる点

学生の自主性に任された自由な研究活動

良くも悪くも自由なところ

他専修の講義をかなり自由に選択し、卒業のための単位とすることができたこと。幅広い教養を身につけられた。

自学自習の精神。生徒個人の判断や視点を尊重してくださるところがありがたかったです。

通常の社会人では得られない教養を持つことができた。

豊富な現物資料を手にとって学ぶことができた。研究室など、先輩との交流を豊富に持つことができた。

西洋史学専修の南川先生には卒論研究など親身なご指導をいただきました。南川先生の教育者としての姿は、自分が教員となった後も理想の姿としています。

図書館の充実、自学自習の気風

学部図書館があるのは贅沢だったと思います。

時間割・授業の選択の自由度が高く、選択肢の幅が広い

特定の専門に縛られず、関心のある分野について広く学べるところ。

平成25年(2013)3月に文学研究科修士課程を修了した方の回答

環境を整備しつつ、純粋学問の深みの一端に触れることで人間や社会についてじっくり考えることの大切さと、自らの無知を自覚できたこと

①研究の内容・方向に対して、尊重して頂いたこと。②修士論文作成に関わり、前向きに取り組めるようアドバイスをいただいたこと。③他の専攻科との共通科目があり、幅広い知識が得られ、視野が広がったこと。④図書が充実しており、利便性が高かったこと。⑤先生に懐の深さを感じただけでなく、当然ながら豊かな知識や見識の下、勉強できたこと。

研究に没頭できる自主性を重んじた環境。

Q6 文学部(文学研究科)での勉学について、特にどのようなところが不満あるいは改善すべき点だと感じたか、自由に教えてください。

平成25年(2013)3月に文学部を卒業した方の回答

社会からの要請と、勉学の方向性とのマッチングを教員、学生ともに意識していない。大学が職業訓練施設になる必要はないが、成果が直接的にせよ、間接的にせよ、誰かにとっての益となることを目的とした勉学でありたい。

社会に出てから役立つ実学的なことをもう少し学べたらと思うが、文学部にそれを求めるのもどうかと思うので

とくになし

良くも悪くも自由なところ

特にありません。

修士に行かずに学部卒で社会に出る人への理解。

研究内容について相談しづらかった

2010年に学部の履修登録も紙ではなくクラスからに変更になりましたが、演習で「3年生も4年生の曜時間に出てください」と言われたためやきもきました。3年生用のコマは実質授業がなく、他の授業を履修できるのにクラスでは登録できない。4年生のコマは他の授業を履修登録できるけど出席はできない。システムが新しくなっても先生方が昔ながらの考えのままだと学生が迷惑を被る場合があります。

放任すぎる

平成25年(2013)3月に文学研究科修士課程を修了した方の回答

特になし。専門領域の学習にもう少し早めに触れられると良いか。

組織を超えた交流、交流からプロジェクトへの発展など、水平方向のコラボレーションの企画および実行能力を養うカリキュラムがあればなお良いと感じる。

Q7 振り返ってみて、あなたは文学部(文学研究科)で学べたことに満足していますか。

| | 学部卒業生 | | 修士課程修了生 | |
|---------------|-------|-------|---------|-------|
| 十分に満足している。 | 9 | 60.0% | 4 | 80.0% |
| それなりに満足している。 | 6 | 40.0% | 1 | 20.0% |
| どちらとも言えない。 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| あまり満足していない。 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 満足できず、後悔している。 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |